

市長選と市議選の
統一実施を望む陳情を
「趣旨採択」

議会運営委員会

林 光仁 委員長

前議会から継続審査となつていました「市長選挙と市議会議員選挙の統一選挙実施に関する陳情」の審議では従来統一であった市長と市議会議員選挙は、平成10年以降市長の辞任で別々となつていました。これに対し、経費や投票率の改善などから、「苫小牧市政に提言する市民の会」から陳情が出されていきました。(平成28年2月提出)

3月より精力的に議論を進め、改革フォーラム、公明は「採択」、緑風は「趣旨採択」、民進党・市民連合は「継続審査」、共産と会派市民は、4年間という任期や市長が変わるたびに解散する懸念もあるとして「不採択」の意向を示していましたが、7月1日での委員会では、具体的な内容はしっかりと議論を深めることが必要としたうえで、陳情の趣旨は理解できるとし、委員会として「趣旨採択」としました。

特別委員会

ガントリークレーンの
安定的な運用を

総合開発特別委員会

金澤 俊 委員長

今回は、苫小牧港東港区のガントリークレーンの事故について、その経緯や責任の所在についての質疑がありました。苫小牧市が物流拠点たる大きな要素である港湾の荷役を担っているガントリークレーンであるだけに、その安定的継続的な運用が求められております。

また、新千歳空港の経営改革について、資料として「空港経営改革について」が配布され、国の目指す空港経営改革のポイントから北海道における今後の進め方などについて説明され、質疑がなされました。
最後に、苫東地域における自動走行試験場の誘致について、質疑があり、今後大きな波及効果が期待できることが明らかになりました。
経済都市苫小牧市にとって、ま

たひとつ明るい話題となりそうです。



コンテナ船の衝突被害状況

(仮称)苫小牧市民ホール建設の
質疑が開始しました

安全・安心及び市民ホール建設に
関する特別委員会

小野寺 幸恵 委員長

今委員会では、「樽前山火山防災協議会の設立について」と「苫小牧自主防災組織連合会の設立について」「熊本地震に係る本市の対応について」「(仮称)苫小牧市民ホール建設基本構想の概要について」の報告がありました。

「樽前山火山防災協議会の設立について」では、協議会のメンバーにガス関連やコンピナートなど

が含まれていないことから、含めることが提案され、災害対策特別措置法の改正に伴う火山ハザードマップの見直しなどについても質疑がありました。
「(仮称)苫小牧市民ホール建設基本構想の概要について」では、市民参加型で「親近感と愛着をもてる施設」という考え方で臨むことが説明され、今後の進め方や財源の考え方、建設候補地など、活発な質疑が交わされました。

